

## ■災害履歴図について

災害履歴図は、地方公共団体や関係行政機関、研究機関、大学等が調査した水害、地震災害、土砂災害等の現地調査図等の資料より、調査地域内で過去に発生した災害による被害区域や被害箇所に関する情報を示した地図です。ここで提供する情報は、概ね5万分の1程度の縮尺レベルで作成されており、位置誤差を含むほか、地図上で表示をまとめたり省略したりしている場合があります。

また、引用する被害調査図等の資料が不十分なため、地図に掲載されていない災害もあります。被害の場所等を特定できない災害等については、別途災害年表や調査説明書に記載している場合がありますので、合わせて参照してください。

なお、災害発生後の堤防整備や下水道整備、地盤の改良等の防災対策が行われている場合などには、災害発生当時に比べて、現在は土地の安全性が向上している可能性がありますのでご留意願います。

磐田・掛塚地区の災害履歴図の作成にあたっては、以下の資料を引用しました。

### ○災害履歴図 [水害]

#### 1. 洪水による浸水域

明治44(1911)年8月4日台風による水害浸水域、堤防決壊及び橋梁流出地点

- ・国土交通省. 天竜川系流域及び河川の概要, 第4章水害と治水事業の沿革. 2008, p. 5より転載。

昭和36(1961)年6月豪雨による水害浸水域

- ・国土交通省. 天竜川系流域及び河川の概要, 第4章水害と治水事業の沿革. 2008, p. 6より転載。

昭和49(1974)年台風8号(七夕台風)水害浸水域

- ・静岡県警察本部. 昭和49年7月7日～8日台風8号及び梅雨前線による大雨に伴う災害警備の概況. 1974, p. 33より転載。
- ・津田川河川改修促進協議会. 繰り返すまい、七夕災害記録総集. 1977より転載。
- ・静岡県. 天竜川水系安間川河川整備計画. 2004, p. 11より転載。
- ・静岡県. 天竜川水系一雲済川河川整備計画. 2002, p. 5より転載。
- ・静岡県. 太田川水系河川整備計画. 2001, p. 11より一部浸水域を補足。

昭和50(1975)年10月豪雨による水害浸水域

- ・静岡県 (2004) 『天竜川水系安間川河川整備計画』 p. 11より転載。
- ・静岡県 (2002) 『天竜川水系一雲済川河川整備計画』 p. 5より転載。

平成10(1998)年9月台風6・7号による水害浸水域

- ・静岡県 (2004) 『天竜川水系安間川河川整備計画』 p. 11より転載。
- ・静岡県 (2002) 『天竜川水系一雲済川河川整備計画』 p. 5より転載。
- ・静岡県. 太田川水系河川整備計画. 2001, p. 12より転載。

明治期の天竜川の旧流路

- ・旧版地図より転載

## ○災害履歴図 [地震災害]

### 1. 昭和19 (1944) 年東南海地震における建物被害

- ・大庭正八. 1944年12月7日東南海地震に見られた遠江地方の家屋被害分布と地盤との関係. 東京大学地震研究所彙報. 第35冊第1号. 1957, に所収の「第Ⅲ表 1944年東南海地震による部落別被害家屋統計」p. 240-292の戸数、住家被害数（全壊、半壊別）の市町村別合計値より作成。
- ・本図には、災害発生当時の市町村名を表示している。図中で、市町村名のみを記載した市町村は、資料中に被害報告の記載はないものの、実際には被害が生じていた可能性がある。なお、本図に表示した市区町村界は、災害発生時期に近い年代の状況を既存資料により参考表示したものであり、災害発生当時の市区町村とは一致しない場合がある。

### 2. 液状化地点

- ・若松加寿江. 日本の液状化履歴マップ 745-2008. 東京大学出版会, 2011. 製品シリアル番号: JLM0973より下記地震を転載。
  - I. 宝永4 (1707) 年宝永地震
  - II. 嘉永7 (1854) 年安政東海地震、安政南海地震
  - III. 安政2 (1855) 年地震 (11月)
  - IV. 明治24 (1891) 年濃尾地震
  - V. 昭和19 (1944) 年東南海地震

(注) Vの天竜川より東側は、中部建設協会浜松支所. 天竜川 治水と利水. 中部地方建設局浜松工事事務所, 1990, p. 84の調査結果を転載。ただし、横須賀町は該当調査地域外のため、東南海地震記録集編集委員会. 昭和19年東南海地震の記録. 静岡県中遠振興センター, 1982, p. 216を転載。

### 3. 地割れ地点

宝永4 (1707) 年宝永地震

- ・静岡県地震対策課. 静岡県地震対策基礎調査報告書. 1978, p. 42-44より転載。

嘉永7 (1854) 年安政東海地震

- ・静岡県地震対策課. 静岡県地震対策基礎調査報告書. 1978, p. 62より転載。

昭和19 (1944) 年東南海地震

- ・中部建設協会浜松支所. 天竜川 治水と利水. 中部地方建設局浜松工事事務所, 1990, p. 82より作成。
- ・横須賀町は、東南海地震記録集編集委員会. 昭和19年東南海地震の記録. 静岡県中遠振興センター, 1982, p. 216より転載。

## ○災害履歴図 [津波災害]

### 1. 津波の浸水域

嘉永7 (1854) 年安政東海地震津波浸水域

- ・静岡県地震防災センター. 第3次地震被害想定報告書. 2001 (GIS データ) を転載。

明治23 (1890) 年の海岸線

- ・土地分類基本調査図 (土地履歴調査) 土地利用分類図 第1期より転載。

## 2. 主な地震による沿岸での津波観測値

昭和19(1944)年東南海地震の津波観測値

- ・飯田汲事. 昭和19年12月7日東南海地震の震害と震度分布. 愛知県防災会議. 1977, p. 540より転載。数値はT.P上波高(m)。数値に関しては資料に記載のまま表記している。

### ○災害履歴図【地盤沈下】

- ・静岡県くらし・環境部環境局水利用課. 静岡県地盤沈下調査結果中遠地域. 2004より転載。
- ・静岡県くらし・環境部環境局水利用課. 平成16年度中遠地域地盤沈下調査変動量図. 2004より転載。
- ・静岡県くらし・環境部環境局水利用課. 静岡県地盤沈下調査結果西遠地域. 2007より転載。
- ・静岡県くらし・環境部環境局水利用課. 平成19年度西遠地域地盤沈下調査変動量図. 2007より転載。
- ・集計期間中に移転・改埋があった水準点・水準基標は集計対象外とした。
- ・調査期間詳細は以下のとおり。

<中遠地区>

昭和55年, 昭和57年, 昭和59年, 昭和62年, 平成2年, 平成6年, 平成10年, 平成16年

<西遠地区>

昭和54年, 昭和57年, 昭和59年, 昭和61年, 平成1年, 平成5年, 平成9年, 平成12年, 平成19年

- ・地点番号「144」の数値については、この地点で磐田バイパス工事が行われており、その影響により大きな数値となっていると考えられる。
- ・地点番号「チ-17」の数値については、標石の人為的な移動形跡が認められるため、全体的には沈下傾向が認められるが、その影響が含まれていると考えられる。

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図、数値地図50000(地図画像)、数値地図25000(土地条件)及び基盤地図情報を使用した。(承認番号 平23 情使、第492号)」